

介護人材の確保・介護現場の革新

令和元年10月9日
厚生労働省老健局

現状

1. 介護保険事業（支援）計画に基づく取組の推進

- 都道府県が策定する介護保険事業支援計画においては、地域包括ケアシステムを支える人材の確保・資質の向上に資する事業に関する事項について定めることとされており（法律に基づく任意的記載事項）、各都道府県においては、介護保険事業支援計画に、多様な人材の確保・育成、離職防止・定着促進・生産性向上、介護の仕事の魅力向上、資質向上等の取組について定め、国からの補助や地域医療介護総合確保基金も活用しながら、これらを推進している。
- 市町村が策定する介護保険事業計画においても、人材の確保・資質の向上について定めることとされており（第7期計画から、基本指針（※）に基づく任意的記載事項として追加）、各市町村においては、地域の特色を踏まえ、国や都道府県と連携しながら人材の確保・資質の向上の取組を進めることとされている。
（※）「介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針」（厚生労働大臣告示）。市町村・都道府県は同指針に即して計画を策定。

2. 人手不足の状況と足下の取組

- 介護関係職種の有効求人倍率は、平成30年度は3.95倍と、全職業（1.46倍）より2ポイント以上高い。都道府県別に見ても、全都道府県で2倍を超えている状況（本年4月時点）。
- 第7期計画の介護サービス見込み量等に基づき、都道府県が推計した介護人材の需要を見ると、2020年度末には約216万人、2025年度末には約245万人が必要。2016年度の約190万人に加え、2020年度末には約26万人、2025年度末までに約55万人、年間6万人程度の介護人材を確保することが必要。
- このため、①介護職員の処遇改善、②多様な人材の確保・育成、③離職防止・定着促進・生産性向上、④介護職の魅力向上、さらには外国人材の受入環境整備など、総合的な介護人材確保対策を実施。

現状・今後の方向性

2. 人手不足の状況と足下の取組（続き）

- また、今後とも介護施設等において地域における介護ニーズに応えられるよう、介護現場を預かる関係団体の叡智を結集し、取組の意識共有を図るため、昨年12月に「介護現場革新会議」を立ち上げ、本年3月に基本方針をとりまとめ、①人手不足の中でも介護サービスの質の維持・向上を実現するマネジメントモデルの構築、②ロボット・センサー・ICTの活用、③介護業界のイメージ改善と人材の確保といった課題に介護業界を挙げて取り組む必要性を共有。
- 当面、以下の項目について、関係団体と厚生労働省が一体となって優先的に取り組むこととし、今年度は、全国7か所の地域でパイロット事業を実施。
 - ・ 業務の洗い出し・切り分けを行った上で、ロボット・センサー・ICTの活用と元気高齢者などの活躍を促し、介護施設をはじめとする介護現場における業務の効率化モデルを普及させる。
 - ・ 中学生、高校生等が進路を考えるに当たって、介護職の魅力を認識し、仕事として選択をしてもらえるよう、学校や進路指導の教員などへの働きかけを行う。

3. 令和2年度（第7期3年目）の取組の方向

- 令和2年度においては、介護現場革新会議の基本方針等を踏まえ、高齢者のマッチング（主に介護助手の担い手）と若者への多様なアプローチ（介護業務の中心的担い手）を重点に、処遇改善、ICT活用等の環境整備を進め、介護現場の生産性向上に資する人材確保に総合的に取り組むこととしている。
- 令和2年度予算概算要求においては、厚生労働省として、新規・拡充の取組として以下の事項を盛り込んでいるところ。
 - （1）多様な人材の参入促進を図るため、
 - ・介護分野への元気高齢者等の参入促進セミナーの実施
 - ・介護人材確保のためのボランティアポイントの活用
 - ・地域の支え合い活動継続のための事務手続き等支援
 - ・若者層、元気高齢者層に対する介護の仕事の魅力等に関する情報発信の強化

今後の方向性

3. 令和2年度（第7期3年目）の取組の方向（続き）

- (2) 働きやすい環境の整備を図るため、
 - ・介護職員に対する悩み相談窓口の設置
 - ・介護事業所におけるハラスメント対策の推進（実態調査、研修、リーフレット作成、弁護士相談、ヘルパー補助者同行への支援）
 - ・若手介護職員同士のネットワークの構築支援
 - ・リーダー的介護職員の育成とチームケアの実践力の向上に向けた取組の推進

- (3) 平成30年度の生産性向上ガイドラインの作成や令和元年度の全国7か所でのパイロット事業等の成果を全国に普及するため、
 - ・生産性向上ガイドラインに関する全国セミナーの開催
 - ・生産性向上の取組を支援するファシリテーター養成の手引きの作成
 - ・各都道府県における介護現場革新の取組への支援

- (4) 介護ロボットやICTの活用に関して、
 - ・介護ロボットの開発・導入・活用・改善の一連のプロセスを支援する拠点の設置による開発・普及の加速化
 - ・居宅介護支援事業所とサービス提供事業所のICT化、情報連携の推進
 - ・介護事業所がICT、介護ロボットを導入する際の支援の拡充

- (5) このほか、
 - ・介護職員処遇改善加算の取得促進に向けた支援の充実
 - ・外国人介護人材の受入施設への環境整備のための支援の充実
 - ・ハローワークの「人材確保対策コーナー」を拡充し関係団体等と連携した人材確保支援を推進

今後の方向性

4. 第8期計画期間における取組の方向性

- 現下の厳しい介護人材難の状況や、今後の高齢化の進展に伴う介護サービス需要の一層の増加に鑑み、第8期計画期間（令和3年度～令和5年度）においても、引き続き、介護人材の確保について、新規人材の確保、離職の防止（定着支援）の双方の観点から、総合的な対策を進めていくことが必要。「富士山型」の構造（※）を目指しながら、介護業務の中心的担い手となる若者、即戦力となる潜在介護福祉士をはじめ、多様な人材の参入、活躍を促進する。また、働きやすい環境の整備を進めるとともに、介護現場の魅力向上の取組を進める。
（※）「富士山型」：人材の機能分化を進め、専門性の高い人材が中心となってサービスの質の向上を目指すとともに、人材のすそ野を拡大しつつ、キャリアパスの構築・定着促進を図ることを目指す。
- さらに、2040年を展望すると、2025年以降は現役世代の減少が顕著となり、地域の高齢者介護を支える人的基盤の確保が大きな課題となる。介護現場の持続可能性を確保していくためには、高齢者の地域や介護現場での活躍を促進し、健康づくり・介護予防を図るとともに、介護の支え手として活躍していただくことが重要となる。また、介護現場における文書の削減や標準化、ICTの活用等を進め、人的制約がある中で質の高いサービスが提供できる環境を整備していくことが重要となる。これらの取組を一層推進していく。
- 第7期計画期間においては、国において介護現場革新会議を立ち上げるとともに、人材確保・育成、業務改善、魅力発信等に係る革新的な取組について、先進自治体においてパイロット事業を実施し、そこで得られた好事例・ノウハウを全国展開していく取組を進めている。第8期計画期間においては、全国各地の介護現場で業務改善等の取組が進むよう、全国各地域における、自治体、関係団体、介護事業者等の連携の下での介護現場革新の取組を一層推進し、介護現場全体の人材確保や業務改善への対応の底上げを図る。
- 介護現場が直面する課題に対応していくためには、国、都道府県、市町村、関係団体、介護事業者等がそれぞれの役割・責任を果たしながら、一体となって不断の取組を続けていくことが必要。また、介護人材不足は全国的な課題ではあるものの、足下や将来の具体的な状況、対応方策は各地域で異なる。各都道府県、各市町村において、関係者の協働の下、地域の実情に応じてきめ細かく対応していく体制整備を図っていく。
（※）地域の介護人材や事業者への支援の中核となるセンターを設置するなど、市町村で介護人材の確保・育成に向けた体制を整備する動きも出ている。

論点

- 第8期計画期間において、介護人材の確保・介護現場の革新を進めるため、現在活躍されている介護職員の方が感じている「やりがい」や働き続けられている理由などに着目しながら、多様な人材の参入・活躍の促進、働きやすい環境の整備、介護現場の魅力向上等の取組の方策として、どのようなことが考えられるか。
 - 特に、高齢者の地域や介護現場での活躍の促進、介護現場における文書の削減や標準化（※）、ICTの活用等を一層進めるための方策として、どのようなことが考えられるか。
さらには、介護現場の業務（間接業務等）を減らす実効的な仕組みや方策として、どのようなことが考えられるか。
- （※）文書の削減・標準化等については、「介護分野の文書に係る負担軽減に関する専門委員会」において、指定申請関連文書、報酬請求関連文書、指導監査関連文書等に関して、①個々の申請様式・添付書類や手続きに関する簡素化、②自治体毎のローカルルール解消による標準化、③共通してさらなる効率化に繋がる可能性のあるICT等の活用等の観点から検討を進めている。
- 各地域、各介護現場で、業務改善等の介護現場革新の取組を進めるための体制や方策について、どのように考えるか。
 - 介護人材の確保、介護現場の革新について、各都道府県、各市町村において、国、都道府県、市町村、関係団体、介護事業者等の関係者が協働しながら、地域の実情に応じてきめ細かく対応していく体制や方策について、どのように考えるか。